

富士山憲章 ワークブック



富士山憲章山梨県推進会議

▲ みなさんは「富士山憲章」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。

初めて聞くという人もいますので、まずはご紹介いたします。▲

▲ 富士山憲章

富士山は、その雄大さ、気高さにより、古くから人々に深い感銘を与え、「心のふるさと」として親しまれ、愛されてきた山です。

富士山は、多様な自然の豊かさとともに、原生林をはじめ貴重な動植物の分布など、学術的にも高い価値を持っています。

富士山は、私たちにとって、美しい景観や豊富な地下水などの恵みをもたらしています。この恵みは、特色ある地域社会を形成し、潤いに満ちた文化を育んできました。

しかし、自然に対する過度の利用や社会経済活動などの人々の営みは、富士山の自然環境に様々な影響を及ぼしています。富士山の貴重な自然は、一度壊れると復元することは非常に困難です。

富士山は、自然、景観、歴史・文化のどれひとつをとっても、人間社会を写し出す鏡であり、富士山と人との共生は、私たちの最も重要な課題です。

私たちは、今を生きる人々だけでなく、未来の子供たちのため、その自然環境の保全に取り組んでいきます。

今こそ、私たちは、富士山を愛する多くの人々の思いを結集し、保護と適正な利用のもとに、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、後世に引き継いでいくことを決意します。

よって、山梨・静岡両県は、ここに富士山憲章を定めます。

- 一 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

平成 10 年 11 月 18 日

山梨県・静岡県

この「富士山憲章」は、平成 10 年 11 月 18 日に山梨県と静岡県が話し合い、定めたものです。これは、富士山の環境保全に取り組むための考え方や活動するための基本になるとともに、山梨・静岡両県が、富士山の環境保全への取り組みを広く呼びかけ、全国的な運動として盛り上げていくために作られました。

▲「富士山憲章」に記されている内容について、一緒に考えていきましょう。▲

▲ 富士山ってこんな山！

「富士山憲章」では、三つの視点から富士山を紹介しています。

1 「心のふるさと」となっている山

富士山は、その雄大さ、気高さにより、古くから人々に深い感銘を与え、「心のふるさと」として親しまれ、愛されてきた山です。

まずは、目を閉じて富士山を思い浮かべてみましょう。みなさんが想像した富士山はどのような姿でしたか。ことば（一文）や絵で自由に表してみましょう。

【例】富士山は、日本一高く美しい形をしています。

富士山を思い浮かべることができるということは、その姿がみなさんの心に刻み込まれている証です。富士山を見ると元気になる、安心する、あこがれを抱くなど、人それぞれ様々な感じ方がありますが、これは私たちが知らず知らずのうちに富士山を、心のささえにしているからかもしれません。

▲ 「ふるさと富士」ってなに？

富士山から離れた地域に暮らす人々の中には、富士山と同じような姿形をしている地元（各地）の山に「富士」の名をつけて「〇〇富士」と呼び、日本や日本を代表する富士山、あるいは自分のふるさとやその山に強い思いを寄せています。一例ですが、北海道では羊蹄山を「蝦夷富士」、鳥取県では大山を「伯耆富士」と呼んでいます。また、このような山（ふるさと富士）は日本だけでなく、外国にもあります。たとえばアメリカのレーニア山は「タコマ富士」、フィリピンのマヨン山は「ルソン富士」と呼ばれています。海外に移住した日本人も“富士の姿”に自分のふるさとを重ね、そこに思いを寄せていることがうかがわれます。

昔から人々は、日本一高く美しい姿形をしている富士山ほとけさまに神様や仏様がいて信じて手を合わせ、感謝し、尊敬してきました。その一方で、火山である富士山は昔から何度も噴火を繰り返し、恐ろしい姿も見せてきました。人々は噴火を神様の怒りと考え、それが鎮まるように祈りました。噴火がおさまってくると「特別な力を得たい」と願う人々が富士山に入り、修行するようになり、そして富士山でご来光(日の出)を見ることも修行の一つになり、多くの人が富士山をめざしました。現在でも、富士山の山頂からご来光を拝みたいと思う登山者がたくさんいるのは、この心が今も人々の心の中にあるからではないでしょうか。(富士山は「信仰の対象」なのです。)

また、雄大で気高く美しい富士山は、様々な文学作品や絵画作品等の題材になっており、特に葛飾北斎など浮世絵で描かれた富士山は海を越え、モネやゴッホなどの西洋の芸術家たちにも大きな影響を与えました。(富士山は「芸術の源泉」なのです。)



富士山頂からご来光を見る登山者

■ 世界遺産富士山(文化遺産)

世界遺産富士山の正式名称は、『富士山 - 信仰の対象と芸術の源泉』です。富士山は「信仰の対象」と「芸術の源泉」という二つの価値が世界に認められて、2013年に世界文化遺産に登録されました。

2 多様な自然・高い価値をもつ山

富士山は、**多様な自然の豊かさ**とともに、原生林をはじめ**貴重な動植物の分布**など、学術的にも高い価値を持っています。

何度も噴火を繰り返し、日本一高い独立峰となった富士山には、様々な自然環境があります。

(1) 富士山の植物

植物にはそれぞれ、生育に最適な環境があります。富士山は標高が高く、斜面が続いており、標高が上がるにつれて気温は低くなっていきます。それにともない、植物の様子(植生)も変化します。土地の高度の変化との関係から見た生物の分布を「垂直分布」といいます。

【調べ活動】

「富士山環境保全ガイドブック」などで、富士山の植物の垂直分布を調べてみましょう。

① ～1,000メートル

② 1,000～1,600メートル

③ 1,600～2,500メートル(森林限界)

④ 2,500メートル(森林限界)～山頂



あおきがはらじゆかい
青木ヶ原樹海

■ 青木ヶ原樹海ってどんなところ？

- 富士山の噴火(864～866年)で流れ出した大量の溶岩の上にてきた天然林です。いろいろな種類の植物が生えている貴重な場所となっています。
- 青木ヶ原樹海は、貴重な植物種が見られ、様々な動物のすみかにもなっているなど、大部分が自然そのままに維持されています。この価値が認められて、青木ヶ原樹海も含めた「富士山原始林」が、1926年に国の天然記念物に指定されました。現在、青木ヶ原樹海は、富士箱根伊豆国立公園の特別保護地区の一つに指定されています。
- 溶岩洞穴(洞くつ)がたくさんあります。

※ なぜ「青木ヶ原」と名づけられたのか調べてみましょう。

(2) 富士山の動物

動物も自然環境によって生息する種類が異なります。日本のほぼ中央に位置し、標高差がとても大きい富士山では、様々なほ乳類や鳥類、昆虫類を観察することができます。

例えば、富士山は「ほ乳類の宝庫」といわれており、今までに 42 種のほ乳類が確認されています。中でも青木ヶ原樹海一帯の溶岩洞穴では、多くのコウモリが確認されています。フジホオヒゲコウモリやウサギコウモリなどが生息しており、これは噴火でできた溶岩洞穴内の環境がコウモリの生息に適しているからです。



冬眠するコウモリの様子

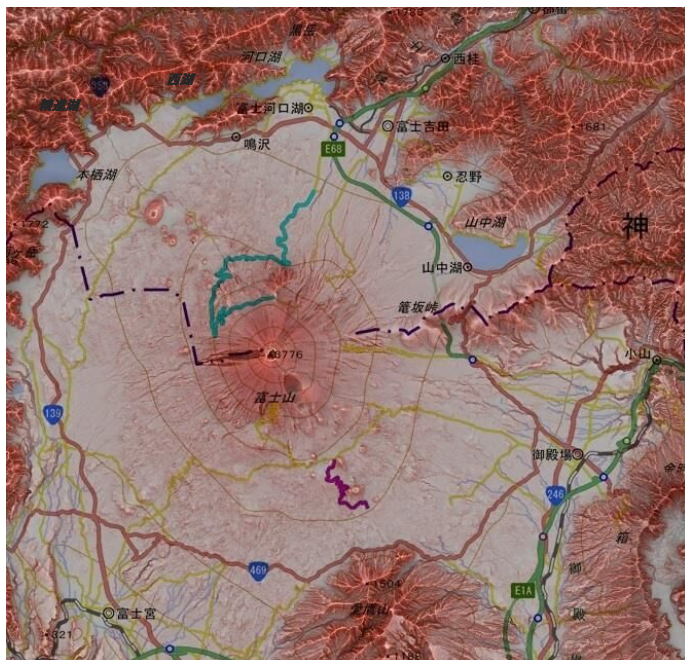
【調べ活動】

富士山には多くの種類の動物が生息していますが、富士山をすみかにするコウモリ以外の動物について、「富士山環境保全ガイドブック」などで調べてみましょう。

3 人々の生活を支えてきた山

富士山は、私たちにとって、美しい景観や豊富な地下水などの**恵み**をもたらしています。この恵みは、**特色ある地域社会**を形成し、**潤いに満ちた文化**を育んできました。

私たちの生活は、「富士山の恵み」に支えられています。



富士山の地形がわかる赤色立体地図

出典: 国土地理院ウェブサイト(アジア航測株式会社の赤色立体地図
作成手法(特許 3670274、特許 4272146)を使用)を加工して作成

(2) 美しい景観

富士山やその周辺の富士五湖など山麓の美しい景色を求めて、国内外を問わず、多くの観光客がこの地域を訪れます。そして富士登山や青木ヶ原樹海の散策など、富士山の自然や景観を心ゆくまで楽しんでいきます。

(1) 富士山周辺の土地

噴火によって発生した溶岩流や、噴火後の大雨などが原因となり発生した土石流などは、この地域に広く平らな土地をつくりました。

左の地図を見るとわかるように、富士山を中心に広大ななだらかな地形が広がっています。

富士山が生まれ、噴火を繰り返して成長してきたからこそ、広くなだらかなで、様々な産業に適した土地ができあがり、人々は豊かな文化を育むことができたのです。



ダイヤモンド富士



富士山を散策する様子

(3) 富士山の水

一年間に富士山に降る雨や雪の量は、約 20 億トン以上とされていますが、富士山の山頂の火口には水がたまっています。それは、富士山の火山灰は目が粗く、溶岩も穴だらけで水をためることができないからです。そのため、雨や雪は富士山の中にしみ込み、溶岩を通り、ろ過され、やがてきれいな水となって富士山の麓で湧き出します。富士五湖や忍野八海などから湧き出ている水もその一部です。



中ノ倉峠から見た富士山

富士山の豊富な地下水は、昔から様々な場面で私たちの生活を支えてきました。

【調べ活動】

富士山の豊富な地下水をどのように利用しているのか、また、富士山の水はどのような水なのかなど、「富士山の水」について自由に調べてみましょう。

(4) 富士山の課題

私たちの生活は富士山の恵みに支えられているので、富士山を保護することはとても大切です。

自然に対する過度の利用や社会経済活動などの人々の営みは、富士山の自然環境に様々な影響を及ぼしています。富士山の貴重な自然は、一度壊れると復元することは非常に困難です。富士山は、自然、景観、歴史・文化のどれひとつをとっても、人間社会を写し出す鏡であり、富士山と人との共生は、私たちの最も重要な課題です。



登山道に捨てられていたゴミ

これまでに学んだように、富士山の恵みである「美しい景観」を求めて、富士山やその周辺にはたくさんの観光客が訪れます。また、富士山は山ですから、当然多くの登山者も訪れます。富士山に訪れる人が増えたことで登山道や麓ではポイ捨てなどのゴミ問題が大きな課題となっていました。しかし、現在、五合目以上の山中では様々な団体による清掃活動や、マナーの呼びかけなどを行うことにより、登山道周辺のゴミはかなり少なくなりました。また、麓に捨てられたゴミについても、

定期的な清掃活動や巡回が行われており、富士山におけるゴミ問題は徐々に改善されつつありますが、いまだ課題であることには違いありません。

また、新たな課題も発生しています。富士山には外国人の登山者や観光客も多く訪れますが、その中には富士山が簡単に登れる山だと間違った認識を持ち、登山に必要な準備を十分にせずに登ってしまう人がいます。登山に必要な準備とは、登山靴や防寒着などを準備したり、富士山に登るためのルートやマナーを事前に調べたりすることです。きちんと準備をせずに登山をして、ゴミを捨てたり、登山道にテントを張ったりするなど、禁止されている行為をしてしまう人もいます。



登山に必要な準備をせずに富士山に登る人々

もちろんこれは外国の方に限ったことではありませんが、外国の方も含め富士山を訪れる人には、ルールをきちんと知り、守ってもらする必要があります。



富士山レンジャーの巡回の様子

山梨県立富士山世界遺産センターには富士山レンジャーがいます。富士山レンジャーは富士山だけでなく、富士山の麓にゴミの不法投棄が行われていないか、周辺の環境が守られているかなどを確認するために巡回しており、問題があれば関係機関に報告をしています。また、富士山が開山しているときは富士山の登山道も巡回し、登山道に捨てられたゴミを拾ったり、危険な格好で富士山を登ろうとしている人たちに注意をしたりもします。

富士山レンジャーはこのように日々、富士山とその周辺の環境を守る活動や、登山者の安全を見守る活動もしています。

【調べ活動】

富士山の環境を守るために、これまでいろいろな人や団体が活動してきました。具体的に誰がどのような活動を行ってきたのか、また、現在行っているのか調べてみましょう。

▲ 富士山を後世に引き継ぐために

私たちは、今を生きる人々だけでなく、**未来の子供たちのため**、その自然環境の**保全**に取り組んでいきます。

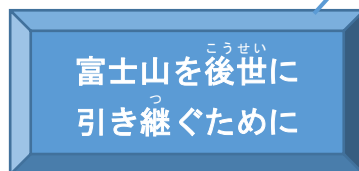
今こそ、私たちは、富士山を愛する多くの人々の思いを結集し、**保護と適正な利用**のもとに、富士山を国民の財産として、世界に誇る日本のシンボルとして、**後世に引き継いでいく**ことを決意します。


「富士山憲章」では、富士山を保全していくためにどのような活動をしたらよいかを示す“行動規範”を定めています。

- 一 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
- 一 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
- 一 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
- 一 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
- 一 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

【考えよう】

富士山憲章の“行動規範”を参考にして、富士山を後世に引き継ぐために、自分たちにできることは何か、ウェービングマップを使って、考えてみましょう。





富士山^{けんしょう}憲章山梨県推進会議

(富士山ボランティアセンター)

〒401-0301

山梨県南都留郡富士河口湖町船津 6663-1

山梨県立富士山^{いさん}世界遺産センター北館内

TEL 0555-20-9229

FAX 0555-72-4114

年 組